

時代を読み解く

リーズ  
17

**英米軍新たな手法**  
自衛隊は多くの課題に直面しているが、人的基盤の問題は最も深刻な問題の一つである。防衛白書によれば、2022年3月末時点

## 今月の講師



いけがみ りゅうぞう  
池上 隆蔵 1 陸佐

軍事戰略研究室 主任研究官

1970(昭和45)年生まれ、大阪府出身。同志社大学文学部哲学科卒。陸上自衛空科。防衛大学校総合安全保険研究科前期課程(組織科学)で修士(安全保障)。西部方面航空隊、中部方面航空隊、陸幕防衛部、第6飛行隊長(神戸)、統幕防衛計画部、陸自幹部学校戦略教官、東部方面総監部陸上連絡官(横須賀)などを経て現職。専門は戦略理論・組織論・軍事社会学。論文に「海洋防衛の二つのパラダイム—『制海』と『持続的な海洋支配の試み』のあいだで—」(『戦略研究』第26号、2020年3月所収)など。

て自衛隊全体の充足率は93・4%、陸自は92・7%である。特に士階級は3自衛隊合わせ97・8%の充足率しかない。

に約1563万人と約15%も減少する。

度  
ており、そ  
の要  
値する。

は3月に日本は  
「ゲー」の「ゲー」  
世界2位の「ゲー」  
を強調する「ゲー」

そこに「スマホ依存」  
「ムおたぐ」といった  
代の否定的ステレオタ  
が記されると同時に、  
はそれを集中力や気  
はいはう

日本は「多様性受容」した米国のPR。1917-18年の陸軍は募集数の大幅増があったとを受容すべき、達成率は91.5%である。

学者などが、軍は多くの  
だけではなく、  
する組織と

2年目のサニーリングスの仕事を有  
継承し、陸軍の中で多様性  
を代表すると判断されたら  
訴えたの  
人が選ばれ、彼らの喜びや  
夢が語られている。

この広告が「世代に訴えるのは自己実現の場としての陸軍、夢を支援する陸軍であり、個人の夢の実現がより大きな貢献につながることも強調されている。

軍の募集が成功した要因といえる。

# Z世代に対する 募集キャンペーン

昇集キャンペーン

年代前半出生の世代を指す。彼らは力強く「このままではいけない」と叫んで、特に2016年は、年末時にかけて政治家たちに大きな影響を与えた。しかし、一方で、彼らの行動は必ずしも効果的ではなかった。たとえば、彼らが主張する「環境問題」に対する行動は、必ずしも効果的ではなかった。

「ファンなどに頼り込んで貰う状態であり、募集手法の見直しを迫られた。」

の広告が訊ねなかつた、という募集キャンペーンで、陸軍は多様な価値観で、市街地で戦闘する兵士を募る。評議する組織だ、一斉射撃を行う砲連など、

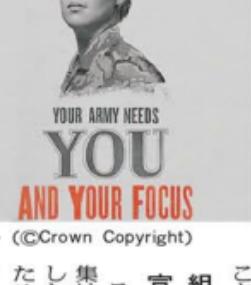
や興奮、銃や戦車、不屈の精神などのイメージは2世ではなく、個人の発展や精神などのイメージは2世会問題の改善にも向けら  
べ、キャリアの変化に抵抗なく、頻繁に仕事を変え  
頗可がある。

代の価値観の中心にはな  
く、訴求要素にならないと  
考えられ、翌17年からは友  
情や仲間といった価値を強  
調し、150万人がウェブサ  
イトのは何もなかったので  
ど、いう点である。非難もあ  
つた映像を展開したが、募  
集的には大失敗となつた。

# GAMERS



# ZOMBIES



宣伝

執筆者の池上 1 陸佐が今回  
一マをさらに深掘りして解

し、防衛省職員と突っ込んだ議論を行う「防研セミナーブリーフィング」が6月5日（月）午後3時～4時まで、市ヶ谷のF1棟6階「国際会議場」で開かれます。参加者・聴講者は隊員に限定します。ご興味ある方は奮ってご参加ください。▽問い合わせ=防研企画調整課03-3268-3111（内線29177）まで。